

導入時のポイントー苦労した点・工夫した点

| | |
|---|---|
| <p>【苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者から停留所設置の了解を得るのに苦労した。 ・停留所の設置要請が多く、調整に苦労した。 ・狭隘道路の入り込み運行は、冬期の積雪、凍結などの面で苦慮する場合がある。 | <p>【工夫した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多数の市民に利用してもらえよう、狭隘な道路にも入り込んで運行しよう工夫した。 |
|---|---|

事業効果と今後の展開

【事業効果】

乗車人員：

- ・一律 150 円の低廉な運賃のためか、利用者は多く、開業から各路線とも比較的安定した利用状況である。
- ・対前年比で長地線は 116%前後の伸びを示しており、地域に定着してきている。

輸送収入：

- ・収入は純増であるが、運賃が 150 円均一と安く、事業として未成立で、自治体からの補助が不可欠である。

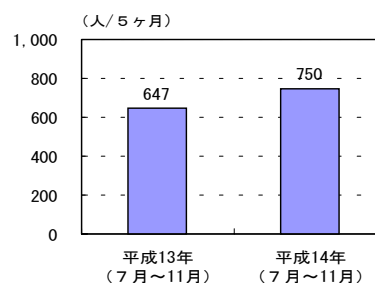
効果が上がっている点：

- ・運転手が帽子にマイクをつけ、乗降時の安全や行き先の案内放送を行い、利用者から好評を得ている。
- ・学校や保育園の体験学習や野外学習に利用されている。
- ・乗務員が利用者と直接顔を合わせて挨拶できるように車両改造を行ったため、利用者とのコミュニケーションに役立っている。
- ・バス運行の便利さ、親切さなどについて評判がよい。

【今後の展開】

諏訪湖周遊バス運行計画があり、その運行状況により既存バス路線の変更があり得る。

図3 対前年同月比平均乗車人員の変化



*長地線（JRバス関東株式会社運行）

評価

| 対象 | 評価 |
|----------|---|
| 利用者利便 | ・低廉な料金で交通空白地域を解消したバス運行によって利用者の評判もよく住民満足度は高いといえる。 |
| 地域の主体的関与 | ・発案から企画・計画運営に至るまで市が主導している。また、運行についても主体として関与し助成している。 |
| 事業性 | ・150 円の低廉な料金であるが、収入は微増傾向にあることから、今後の事業効果が期待される。 |
| 間接効果 | ・交通不便地域の住民の移動性が向上したことで地域活性化に貢献し、また不便地域のイメージを解消したと考えられる。 |